

## え 榎の実学習会開講式

5月11日、下榎集会所で「令和3年度榎の実学習会」の開講式が行われました。

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催しました。

はじめに、生田教育長が、「どんなことでもそうですが、一つのことをずっと続けるのは、とてもエネルギーがいることです。続けてきた成果は、必ず将来に表れてきます。難しい学習もあるでしょうが、楽しく仲良く一年間過ごしてください」と激励しました。

次に、小中学校の校長が、「地域の良さを見つけて、その良さに気づいた自分、地域の誇りだと思えた自分に気づいてもらえたらうれしい」「参加する人数が少なくなった、コロナ禍で出来ないことがたくさんあるなどと言われますが、出来ることもたくさんあります。工夫し、出来ることをしっかりやることで、自分の力になります。大変だからこそ力になる。与えられたチャンスを生かして、たくさんの経験を積んでほしい」とあいさつ。今年度の学習会がスタートしました。

### 地域学習

#### PART 1

#### 「野菜づくり」

第1回目の学習会は、昨年度に続き、小学生・中学生合間で、野菜の苗植えを行いました。

自分たちで野菜を育てることにより、食の大切さや、収穫する喜び、そして自然環境の厳しさや労働の大切さを学ぶことを目的としています。

今年度は、ジャガイモ、カボチャ、昨年度豊作だったミニトマトの苗を植えました。秋の収穫に向けて、成長を見守りたいと思います。



▲たくさん収穫できますように！

### 部落解放月間

鳥取県では、7月10日から8月9日を「部落解放月間」とし、皆さんが同和問題を正しく理解し、認識を深めてもらうため、啓発活動を行っています。

今年度は、「マンガで考える人権4くせクシユアル・ハラスメント」と題したパネルを展示します。

〈展示期間・展示場所〉(予定)

▼7月10日	～7月19日	場所…町図書館
▼7月19日	～7月29日	場所…町公民館
▼7月29日	～8月9日	場所…下榎集会所

期間中、日野町では、啓発パネルの展示と「令和3年度部落解放・人権尊重標語」の掲示を行います。ぜひ、お越しください。

### 6月の行事予定

#### ◆生け花教室 (草月流)

日時：6月19日(土) 13:00～16:00 / 場所：下榎集会所

#### ◆クレイフラワー教室

日時：6月26日(土) 13:00～16:00 / 場所：下榎集会所  
樹脂粘土でバラの花を作ります。  
この講座は3回シリーズで開催します。

#### ◆百歳体操

日時：毎週木曜日、13:30～15:00 / 場所：老人憩の家

※参加申込みなど、詳しくは下榎隣保館(電話 72-1191)までお問い合わせください。

# 農業委員会だより No.87

## ジャガイモ植え付け体験

### ～保育所との交流～

4月16日、ひのっこ保育所の子どもたちとジャガイモの植え付け交流を行いました。

7月には収穫を行う予定です。子どもたちは今から収穫が待ち遠しい様子。おいしいジャガイモがとれるといいですね！



## 農作業中の事故に気を付けましょう

夏に向けて、除草作業などを行う機会が増えてきます。次のことに十分気を付けて、安全に農作業をしましょう。また、刈り払い機など農業機械による事故が起きています。不注意や操作ミスのないよう気を付けましょう。

### 「農作業 今日も一日 NO 事故デー」

#### 1. 休憩をこまめにとり、水分を十分補給しましょう

- ◆農作業の際には、ペットボトルや水筒を携帯しましょう。
- ◆休憩は30分に1回程度とるようにしましょう。
- ※たくさん汗をかいたときは塩分補給も必要です。

#### 2. 帽子の着用や汗を発散しやすい服装で作業しましょう

- ◆直射日光は帽子で防ぐようにしましょう。
- ◆休憩時は、保護具などを外すか緩めるなどして、熱を逃すようにしましょう。

#### 3. 農作業後の水分補給も忘れずに

- ◆農作業後、帰宅途中や帰宅後に熱中症を発症する例も少なくありません。

### 農作業中もコロナ対策はしっかりと行いましょう

◆屋外で人と十分な距離（少なくとも2メートル以上）が確保できるときは、熱中症のリスクを考え、マスクを外しましょう。

◆マスクを着用するときは、強い負荷がかかる作業は避けましょう。周囲の人と距離を十分にとれる場所で、適宜マスクを外して休憩することも必要です。



## リレーコラム

### 農地利用最適化推進委員の活動を通して



農地利用最適化推進委員  
中原 孝博

私は、荒廃農地の相談を受け、現地確認を通して感じたことを報告します。

当日は、私と農業委員会事務局、農地の所有者の3人で4カ所を回りましたが、竹やぶになっていたり、樹木が生い茂っているなど、4カ所すべてが何十年もの間、耕作放棄されていることが一目でわかる状態

でした。

町でも、荒廃農地化したところが数多くあります。今後は、山に返す農地、守っていく農地を明確化することが大事です。

農地について困りごとがありましたら、農業委員会にご相談ください。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。